

宅地造成又は特定盛土等に関する工事許可申請書の記入上の注意事項

(1) 「申請者氏名」

- ・申請者氏名について、法人の場合には、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ・申請を代理人に委任する場合には委任状が必要となります。

(2) 「1 工事主住所氏名（法人役員住所氏名）」

- ・工事主は、工事の請負契約の注文者又は請負契約によらないで自らその工事をする者をいいます。

(3) 「2 設計者住所氏名」

- ・法人の場合には、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。

(4) 「3 工事施行者住所氏名」

- ・工事の請負人又は請負契約によらないで、自らその工事を施行する者を記載してください。
- ・法人の場合には、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。

(5) 「4 土地の所在地及び地番（代表地点の緯度経度）」

- ・申請地について、地番までそのすべてを記載してください。
- ・代表地点の緯度経度は、土地の中心地点を基本とし、秒については少数第2位を四捨五入し、少数第1位までを記載してください。
- ・緯度経度を調べる際には、国土地理院が提供している「地理院地図」を活用してください。

(6) 「7 工事完了後の土地利用」

- ・建築物を建築する場合は、建築物の用途を記入してください。

(7) 「8 盛土のタイプ」

- ・盛土のタイプは次の分類から選択してください。（複数回答可）
 - (1)平地盛土：勾配 1/10 以下の平坦地において行われる盛土
 - (2)腹付け盛土：勾配 1/10 超の傾斜地盤上において行われる盛土
 - (3)谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土

(8) 「9 土地の地形」

- ・溪流等に該当する土地は、地形図を用いて判読された溪床勾配 10 度以上の一連の谷地形であり、その底部の中心線からの距離が 25m 以内の範囲を基本とします。

(9) 「10 イ 盛土又は切土の高さ」

- ・盛土、切土、又は盛土と切土を同時に行う場合に該当する最大高さを記入してください。
- ・最大高さは、現況地盤面と造成後の地盤面の差が最も大きくなる箇所を記入してください。

(10) 「10 ロ 盛土又は切土をする土地の面積」

- ・盛土又は切土をする土地の面積の合計を記入してください。

(11) 「10 ニ 擁壁」

- ・擁壁のタイプごとに付番し、構造、高さ、延長を記入してください。番号は、造成計画平面図等に記入してください。

(12) 「10 ホ 崖面崩壊防止施設」

- ・崖面崩壊防止施設は、住宅等の建築物を建築する宅地擁壁の代替えとしては利用できませんのでご注意ください。